

図書館だより

11月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

○印 休館日(4日) 振替休日(26日)
 月曜(23日) 臨時休館(26日)
 祝日(23日) 臨時休館(26日)
 月末館内整理日(28日)

雪ふかく淋の家居や今朝の冬
 蛇 笏

立冬は、二十四気の一、陰曆十月の節で、霜降の後十五日、すなわち十一月七日ごろにあたる。この日から冬にはいる。今朝の冬は立冬の日の朝である。
 (『最新俳句歳時記』より)

今月の新刊案内

- 一般図書
 - メモの技術 中野不二男
 - 活字浪漫 目黒孝二
 - 行とは何か 藤田庄市
 - 聖書の暗号
 - マイケル・ドロズニン 邪馬台国の時代 黒岩重吾
 - 戦国三姉妹物語 小和田哲男
 - 対談杉浦日向子の江戸塾 杉浦日向子
 - 「次」はこうなる 堺屋太一
 - 裁判の秘密 山口 宏
 - ひ弱な男とフワフワした女の国日本 マークス寿子
 - 子どもたちの戦争 マリア・オーセイミ
 - 日帰り温泉グルメ旅

- ボケ老人、宮下じいさん絶好調!! 奥村美香
- どんな人間がこの時代を生きぬくか 公文 毅
- 冠婚葬祭心得 谷沢永一
- 暮らしに潜む危ない化学物質 吉岡安之
- 痴呆予防と介護 P H P 研究所
- 100年を生きる リン・ピータース・アドラー
- 家庭大工マニュアル 主婦と生活社
- わかりやすい手編みの基礎とコツ 小瀬千枝
- フルーツ&野菜のお菓子 小川聖子
- 日本・陽は必ず昇る 唐津 一
- 家庭菜園の病気と害虫 米山伸吾
- 個人事業の始め方 土屋 彰
- 漆の器を知る 灰野昭郎
- カラオケの上達法 大木隆雄
- エルヴィス登場!!
- ピーター・ギュラルニック 舞台裏の喜劇人たち 林 圭一
- 熱球伝説 鉄矢多美子
- もう一度読む「おしゃれ会話入門」 久米 宏
- すぐ役立つ葬儀・法事のあいさつ 生活ネットワーク研究会
- 歴史ミステリー講座 井沢元彦ほか
- 俳句好日 藤田湘子
- 金沢城風の間 安部竜太郎
- ターン 北村 薫
- 慎治 今野 敏
- 幸福の選択 佐江衆一
- サハリン脱走列車 辻 真先
- ひとでなし 野坂昭如
- 破線のマリス 野沢 尚
- 鎮魂歌(レクイエム) 馳 星周

- どちらを選べば幸せか 秋元 康
- 敗戦後論 加藤典洋
- アリアドネからの糸 中井久夫
- すつびん魂 室井 滋
- 生の時・死の時 共同通信社
- アマポーラスの週末 ハリエット・ドウア
- 名譽の代償 P・T・デューターマン
- シンゲル・パパ
- マイケル・グラント・ジャップフェ
- インテンシティ 上・下
- 死のドリーム・ポート デイモン・クインツ
- ダグ・J・スワンソン 外二二一冊
- 児童図書
 - たのしい日本学習ちず
 - 障害を持った友だちからの贈り物
 - 日本の恐竜がめざめた
 - アリ観察事典
 - しかけおもちゃであそぼう
 - 実物大ビーズあそび
 - 早わかり!航空会社のしくみ
 - ゆかいな仮装をたのしむ本
 - お手玉
 - カドや食堂のなぞなぞ
 - 夢色の大通りで
 - モニカさんのハーモニカ
 - アブダラと空飛ぶ絨毯
 - すばらしい冒険旅行
 - 恋のまじない、ヨンサメカ
 - やまのリコーダー
 - ドシラ
 - 「ハニーバスケット」の作り方
 - アベコベさん 外七三冊

子どもの健康シリーズ(55) 子どもの体験こそがたくましい子を育てる

最近、青少年の非行の悪質化がテレビ、新聞によって報じられ、しかも、ますますエスカレートしている感じがします。情報化時代にあつて、いつ私たちの身边にも大きな事件が起こらないとも限りません。今こそ、子育てに親や地域が真剣に取り組まなければならないと思います。この現象の一つの要因として、豊かな経済社会と親の子育てへの誤解があるのではないのでしょうか。

恵まれた環境、恵まれた生活、これは、大変結構なことであり、だれしも望むところであり、そのために、だれもが毎日努力しているわけですが、子育てにおいては恵まれた生活はいかがなものでしょうか。

ノンフィクション作家、沖中典子さんは「子どもには一〇〇%の幸せを与えなくてよい」といい、女優、真屋順子さんは「マイナスのことこそ、生きるバネ」といって、恵まれた中での子育てに警鐘を鳴らしており、子どもにとって、至れり、つくせりの生活が必ずしも良い結果を生むとは限りません。少しは不満足を与えることがかえってその子の成長にとって有益なこともあることを示唆しています。



てやるようでは、子どもはご機嫌でしようけれど、子どもは何の自覚も責任感も持たないでしょう。忘れ物をして困った、不自由だった。その気持ちが次からの行動を生み、遊びすぎて宿題が出来なかったことから次からの計画性が生まれてくるのではないのでしょうか。それを親や家族が補ってしまつたのでは子どもが自分の力を伸ばすところがなくなってしまう。また、子どもの小さいときから「かゆいところに手が届く」ような育て方で、何でも先回りしてやっ

子どもが中学生くらいになつたお母さんがよく、「うちの子は何もする気がなくて」とか「自分の部屋さえかたづけられないよ」といって、ぐちをいいますが、それは、親の子育てによる結果です。

子育ての基本は「自分のことは自分で」です。それに親や回りの人がどう協力し援助するかがその子の成長に大きく影響するので

子どもの悩みとは 教育相談室へ (八朔屋台展示庫前) 月々金 午前9時~ 午後4時30分 ☎(43)13323